



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 6

令和2年6月23日

第1回学校運営協議会

6月9日（火）、新型コロナウイルス感染症予防のため、例年よりも遅い時期となりましたが、第1回学校運営協議会を開催しました。時間短縮のため、事前に資料を配付し、当日は学校からの簡単な説明の後、委員の皆さんからご意見をいただき、学校経営の改革方針を承認していただきました。



学校経営の改革方針等について（学校からの説明）

基本的には、昨年度までの方針を継続する。今年から市内の小中学校で、すべての児童生徒が1日1時間は、コンピュータを活用した授業ができるように整備された。また、教室には新たに書画カメラ、電子黒板機能付きプロジェクター等が整備された。今まで以上にICT機器を活用して、わかる授業に取り組んでいく。また、各学年でプログラミング教育にも取り組む。

昨年度末から3ヶ月近く休業になったため、学習面では家庭でできることと学校であることを考えながら授業を進める。また、授業時間確保と新型コロナウイルス感染症予防のため、子どもたちが楽しめる活動を入れつつも行事の持ち方を実施の有無も含めて検討していく。（学校経営の改革方針は学校ホームページにも載せてあります）

毎年開催している観劇は中止。人権標語は今年度も取り組む。PTA除草作業は、地域のボランティアの方の担当場所を安全な場所に変更する。

委員の皆さんからいただいた主な意見

○運動会について

- ・合川小は少人数だから開催は可能ではないか。昼食が密接になるので心配。
 - ・応援席や集合の時なども密接の場面がある。競技種目や地域の方の参観、昼食も検討が必要。
 - ・授業のことを考えると練習時間をできるだけ省いてできるようにしたらよい。
- 子どもたちも期待しているので午前中開催、保護者のみ参観の方向で検討していく。

○ふれあいフェスティバルについて

- ・地域の敬老会など、屋内の行事の開催は難しい状況である。
 - ・食事を伴い、屋内での行事のため見送った方がよい。
- 今年度は中止の方向で検討していく。

鈴鹿型コミュニティスクール推進コーディネーターより

学校運営協議会の資料の事前配付や新型コロナウイルス感染症に関する合川小学校の取組をまとめた資料の配付など、周到に準備されていてよい。学校運営協議会も明るい雰囲気話し合われ、意見を言うだけでなく実際に活動して創り上げていく鈴鹿市がめざしている「協働型」のコミュニティスクールに合川小学校は当てはまる。学校が再開したばかりで、学校に慣れていない子どもがいたり、6月になって市内では交通事故が増えていたりするので、これからも地域と学校が連携をとって進めていってほしい。

今年度も学校運営協議会では、学習支援部、環境部、安全部の3つの専門部を設け、学習支援を通じた児童の学力向上、学校環境整備を通じた児童の快適な環境の保障、児童の安心で安全な生活について、それぞれの視点で協議していただきます。

学校運営協議会は年6回開催し、熟議した内容については、毎回学校だよりで報告させていただきます。今年度の委員会のメンバーは、次の方々です。委員長：片岡 昌昭さん、副委員長：野田 効さん、委員：小島 健二さん、國分 昭英さん、荻野 和子さん、川岸 健太郎さん、中尾 弘昌さん、川村 つや子さん、村田 佳奈江さん、中内 滋さんです。よろしくお願いいたします。

1年生を迎える会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1年生は4月14日（火）の入学式と翌日の15日（水）の2日間登校した後、5月31日（日）まで臨時休業となりました。

その後、5月20日（水）からの4回の登校日を経て、6月1日（月）から学校が再開することになりました。

6月2日（火）からは給食も始まり、だんだんと学校生活にも慣れ、6月9日（火）には縦割り班結団式と縦割り班遊び、15日（月）には2年生との学校探検を行いました。

そして、6月19日（金）2限目に、ようやく児童会主催の「1年生を迎える会」を行うことができました。

1年生は少し緊張している様子でしたが、楽しく会に参加することができていました。1年生の紹介では、一人ひとりが名前を呼ばれ、大きな声で返事をしていました。そして、6年生からメッセージ入りのメダルを首にかけてもらったり頭に王冠をかぶせてもらったりして、1年生は大喜びでした。その後、大きな声で「1年生になったら」の歌を歌ってくれました。

各学年が考えた「合川小クイズ」では、1年生は悩みながら①②③の札カードを上げて答えていました。

今年度初めての児童会行事で、全校がいっしょに楽しい時間を過ごすことができました。

